



■これまでの相談事例■

窓口にはさまざまな相談が寄せられます。その相談に対するコーディネーターのアドバイスの一例を紹介します。

下請け体質から脱却して、自社商品を開発したい。

相談者 ものづくり企業経営者

【アドバイス】

■自社の強みを洗い出しましょう。従業員の能力を再発見し、商品開発の方向性を考えるため、現場にお伺いする場合もございます。

■よろず支援拠点で開催する「商品開発」のワークショップに参加してみましょう。



趣味で始めたお菓子づくりを、本格的な事業にしたい。

相談者 創業を目指す方

【アドバイス】

■価格やパッケージ、ネーミングも大切な要素です。他の事例を参考に一緒に考えます。

■地元のイベントなどに出品し、商品や売り方のヒント、お客様の声を集めましょう。



作っても作っても、利益が出せなくて困っています。

相談者 農作物生産者

【アドバイス】

■流通ルートを見直してはどうでしょうか。また、生産者の顔が見えることもポイントです。

■二次加工品の生産（委託）をすると、市場に出せないものや廃棄するものなどのロスを減らせます。



以前売れていた商品が、売れなくなってしまった。

相談者 企業経営者

【アドバイス】

■世の中のトレンドやヒット商品の推移に目を向けましょう。競合する商品を分析し、なぜ売れるのかを一緒に考えます。

■売り場や売り方を見直しましょう。

■パッケージやネーミングを変えることで、また売れるようになることもあります。

課題解決へのプロセス

相談がスタートすると、はじめはそれぞれの課題にじっくりと耳を傾けてお話を伺います。ご相談に来られた方の目線に合わせて、まず何から手を付けたらいいかを一緒に考え、課題

解決への道筋を導き出ししていきます。そして、次回の相談までに何をどこまで進めるのか計画を立てて、1回の相談は終了します。

お気軽にご相談を

■たかやまビジネス相談窓口

利用時間 毎月第2木曜日（祝日の場合は第3木曜日）

午前11時～午後5時

場所 市役所（花岡町2）

利用方法 相談日の前日までに

TEL・FAX でお申し込みください。

申込
問合先 商工課

FAX 3535-13144
3167

このほか、県のよろず支援拠点と高山サテライト相談窓口もあります。

■県よろず支援拠点

場所 ふれあい福寿会館10階
（岐阜市藪田南5）

問合先

県よろず支援拠点

☎0561-271-1088
Mail yorozu@gpc-gifu.or.jp



5月20日に行われた開所式の様子